

■2014年の中国を予測 ①

# 2014年・中国の予言

2014年、中国はどんな年になるのか？中国経済新聞は中国「第一財經日報」、深圳テレビと協力し、35項目を予言する。

1、「中国の夢」は、2014年をも貫くキーワードであり、政府も商人も、一般庶民も年がら年中話題にするであろう。政府の「中国の夢」の内実は、段々はつきりしてきて、庶民もその胸中に自己の小さなチャイナドリームを構築している。2014年に見る、チャイナドリームとは？

2、GDP成長率は7%か、或いは7・5%かに関する論争は相変わらず続くだろう。幸いなことに、2014年のマクロ経済からは、7・8%までは上がらず、また7%にまでは落ち込むまいとのことである。大喜びすることもないが、大滑落も多分なさそうだ。

3、人民元は、これ以上切り上げないだろう。2014年のある日、8年の長きにわたって一方的に切り上げ続けた軌跡の完全終結がおとずれ、そして、それは、米ドル、香港ドルのゆったりとした切り上げの旅の始まりを意味するだろう。金は下落を続けるので、中国のおおば様達の手の中にあるゴールドチェーンは、あと何年持ちこたえられるだろう！

4、マンションなど不動産の価格は大幅値上がりの可能性はないが、大

幅下落もないだろう。不動産の全国ネットワーク登記システムは、2014年にスムーズに実現はしないだろう。

5、習近平による役人の高級酒類禁止令は、茅台酒の価格を更に下げだろう。10年ものの茅台酒は8000元(約1万2800円)以下に下落し、多くの茅台酒工場が倒産するだろう。

6、大型国営企業の反腐敗運動が進み、2013年査察を受けた中国石油会社に続き、2014年にはどんな会社が？

7、スモッグは、2014年にも相変わらず中国人にとって、最大の公敵であり、更に深刻となるばかりで、河北、河東

に続いて、今年は何処が激甚災害地域となるのか、広東それとも西南地域か？

8、食事は相変わらず安全ではなく、次に全国を激震する食品大事件は何になるだろうか？

9、2014年のある日同じ一万元に対して、同じ一年で、A銀行の給付する利息が、B銀行のそれよりも高いことを、あなたは発見する！銀行の預金は、八百屋で菜っ葉を買うように、幾つもの店を比べたり、値段交渉も出来るようになるだろう。

10、いくつかの地方政府が破綻に陥るだろう。例えば、オルドスだとか、榆林がそうだ。公

務員となるのも、それほど以前ほど妙味が無くなるだろう？

11、地方政府の累が及んで、一二の地方銀行が破綻するかもしれない？

12、民営銀行がついに誕生する。その嚆矢はアリババ銀行か、或いは蘇寧銀行か？

13、「小米」スマートフォン所持者が、 아이폰を上回る。あのアップルのジョブスを忘れて、さあ、雷軍(小米生みの親)大明神を奉ろう！

14、農村戸籍の賃格度も上昇しており、特に、第一線都市(北京、天津、上海、廣州等)中の「都市の中の農村」地域、広州の村民は皆々、次世代に優秀な子孫を残すべく、妻として博士号をもった女性を迎えるのだと言おう。

15、ホンコン自由旅行が許可される都市名簿は、これ以上拡大されることはないだろう。10億の人口がホンコンに行くとなると、香港島が踏み潰されてしまうだろうから。

16、2014年、中国人の海外旅行と出張者数は、延べ1億人を超えるだろう。

17、2013年の日系車は、中国に於ける失地を回復したが、2014年からは、日本の電器、食品及びファッションに於いても、失地回復をするだろう。



中国石油

防火重地行



無償化し、百度ナビ地図も無償化となる。

り、ウェブサイトを経営と

18、オバマの4月中国訪問で、習近平と日本を連合管理コントロールしようとの共通認識に達するだろう。安部首相は、9月、北京におけるAPECを欠席するだろう。

19、2014年の最も売れ筋商品——空気清浄機、最も長期間継続的に売れる商品——PM2.5用マスク。

20、空気の汚染は、もう絵空事ではない。我々は今日雲間の空気汚染を味わい、明日はアイスランドの空気が瓶詰めを買ってみたい。

21、2014年、最も儲かりそうな商売——有機農業。聯想集団の創始者柳傳志も農場開拓に向かっている。

22、高德ナビ地図が

なるのではないか？

25、2014年以前、動画配信サイトは、TV局の下請けだったが、2014年以降は、テレビ局が動画配信サイトの下請けとなるだろう。

26、2013年伝統的な紙媒体は、凋落し精彩を欠き、米は炊くことが出来ても、粥しか喉れない。給料は払えても、ボーナスは出せなかつた。2014年は、紙媒体の没落第一年となるだろう。

27、アリババがついに上場する——中国本土ではなく、多分香港か、アメリカで。

28、2014年最もファッション界に注目されるのは、依然として「彭麗媛のスタイル」(習近平の奥様)であろう。間違ひなく、彼女は、今年も中国ファッションデザイナーに推戴されるだろう。

29、2014年、中国の奢侈品消費は、依然として世界第一位だろう。反腐運動は役人の贅沢な需要を削減するだけで、中国人の成実心を削ぎ落すことは出来ない。

30、グッドニュースは、台湾の誠品書店が本土に陸する！パッドニュースは、ほとんど誰も本を買わない。

31、Tesla電気自動車は、正式に中国にやってくる！中国の成金が、ついに新しい富をひけらかす道具を見つけてられるだろう。

32、第二線都市(各省の所在都市)は、正に悪夢の中になるだろう。大規模な土木工事、地下鉄工事は、第一線都市と同様な渋滞を生み、しかし、第一線都市のようなチャンスがあるわけではない。収入水準は第三線都市と同様に低いのに、不動産は騰登り上がる。

2014年に最も流行する転居傾向は、もっと小さな都会へ、田舎へとなるだろう。

33、以前は双子を産むことが許されなかつたので、泣く泣く違法出産したり、隠れ出産したり、ホンコンで産んだり、アメリカで産んだりしたが、現在双子出産オーケーとなつてみると、却つて出産しようとする、産みながら産まない、産む費用がない、産んでも養えないとなるだろう。

34、周永康は必ず逮捕され、中国政治に於いて、中共政治局常務委員が、刑事犯による逮捕を切り開くだろう。先例を切り開くだろう。

35、中国は正式に高齢化社会に入る。老人が子供より多くなれば、広場で「おはあざん舞踏」を愉しむ人々が、健康体操をする若者より多くなり、菓を飲む人々が、ミルクを飲むものより多くなるのである。

(文・本紙編集部)